

宣教支援センター

全国支援・地域協働プロジェクト
バプテスト北九州地方連合
宣教支援センター
ニュースレター◆準備号

北九州地方連合宣教支援センターに寄せる思い

運営委員長 山田 雄次

私たちは教会の強化と北九州地方連合の働きの活性化を目指し、8年間の協議の積み重ねをおして「北九州地方連合宣教支援センター」構想をまとめ上げました。それが昨年11月の連盟の年次総会で「全国支援・地域協働プロジェクト」として決定を受けたことは大きな喜びでした。

年会への議案提出の取り組みと並行して進められていた主事人事については、齊藤弘司氏の招聘が決まり、重要なもう一つの課題である宣教支援センターのサポート教会については、幾つかのプロセスを経た後、共同提案教会からの要請を東八幡教会が受託して下さり、新しい歩みが始まりました。

齊藤主事は新年度4月から東八幡教会に転入会され、5月11日から宣教支援センターの立ち上げに向けた働きに入られました。「いよいよ！」という思いを実感するとともに、新しい時の始まりにともなう高揚感に心を弾ませつつ、連合念願のプロジェクトの取り組みが実現した喜びに浸っています。

私は「宣教支援センター」の働きが生かされ、教会が変えられることで、過去30年の連合の教勢の停滞と低下の流れが食い止められ、活気にあふれる連合に甦らされることを本気で願っています。

そのため、器として誠に微力な者ですが、新しい働きのために献身し、運営委員長としての任を負っていきたくと考えています。

このプロジェクトを実りあるものとするために、連合諸教会の皆さんには、教会の強化と成長を求め、いま教会が抱えている問題や諸課題を「宣教支援センター」の取り組みの活用をおして解決してゆくべく、主体的、積極的に活動に参画していただきたいと切に願っています。

5月24日(日)には、第一回の運営委員会が開かれ、6月に入ってから、アンケート調査、主事による教会訪問、「宣教支援センターニュース」の発行など、本格活動に向けた取り組みが進められていきます。

宣教支援センターが28すべての教会で活用され、教会の強化のために生かされるプロジェクトとされていくよう祈るものです。

主事の
齊藤弘司です



運営委員長の
山田雄次です

連載

宣教支援センターとは何か(1)

宣教支援センターニュースを手にとってくださり、ありがとうございます。私は主事の齊藤弘司と申します。これから3号にわたって、「宣教支援センター」のことをあらためてご説明いたします。

■ 連合って何？

宣教支援センターはバプテスト北九州地方連合のなかに設けられた、教会をサポートするための機関です。

バプテスト北九州地方連合とは、日本バプテスト連盟327教会・伝道所(2015年3月31日現在)のうち、北九州・山口・大分地区の28教会で組織されている地域共同体のこと。

防府 小野田 下関 門司
門司港 富野 小倉 南小倉
シオン山 豊前 企救 小倉春ヶ丘
北九州 若松 高須 八幡 光 東八幡 枝光
折尾 芦屋 中間 直方 飯塚
苅田 大分 別府国際 臼杵

■ 宣教支援センターって何？

バプテスト北九州地方連合の教会の半数以上が位置している北九州市は、高度経済成長期には工業都市として福岡市よりも栄えていました。ところが産業構造の急激な変化により、1979年12月の106万9117人をピークに人口の減少が続き、2015年4月1日現在の北九州市の推計人口は、96万人を割り込んでいます。八幡製鉄所に二つある高炉も、数年後には一つに減るとのこと。

一方、教会は、どこも多かれ少なかれ青年層の減少、そしてメンバーの高齢化という課題に直面しています。そのような中で、私たちは戸畑教会が消滅するという大変残念な事態を経験しました。教会の困窮状態がある程度以上進んでしまうと、何らかのSOSさえ発信できなくなるのではないのでしょうか。

そうなる前の段階で、助けを求めることのできるしくみを作るために。また、いま元気な教

会が、10年後、20年後も元気でいられるために。8年にわたって、様々な議論が積み重ねられてきました。

そのなかで、連合の組織のなかに「宣教支援センター」を設け、専任の主事を置くこと。センターは、時々求めに応じて教会が互いに助け助けられる、出会いの中心地。そのような場(機能)として用いられたい、というビジョンが示されました。

宣教支援センタープロジェクトは、2014年11月の連盟定期総会において、2期8年の全国支援・地域協働プロジェクトとして採択されました。サポート教会を引き受けてくださった東八幡教会において、5月からセンター立ち上げの作業が始まっています。

■ 宣教支援センターの働きに参加してください！

宣教支援センターの働きは、皆様の参加が不可欠です。教会が具体的な課題を挙げて、センターに協働を求めるところから、ボールが転がり始めます。

例えばA教会がミッションステートメントを作りたいので、宣教支援センターにサポートを求めてきたとしましょう。私たちの連合のなかには、既にミッションステートメントを作ったことのある教会が複数あります。その作業によくかかわった教会員を派遣することができれば、合意形成のコツや苦労話を聞くことができます。そうしてもらえられた出会いは、教会を動かす出来事となることでしょう。

皆様の教会は、他の教会の助けとなる可能性を秘めています。連合内の教会がかかわり合うためのお手伝いをする。それが宣教支援センターの使命なのです。





宣教支援センター主事の抱負

宣教支援センター主事としての私の働きは、次の三つであると考えています。

働きの一つ目は、連合内の教会・伝道所を元気にすることです。私は連合事務局に保管されている教会支援に関する資料を読み始めています。そのなかに連合40周年の記念誌がありました。私は田口昭典牧師の基調講演の原稿に目が留まりました。

1986年5月、若松教会は定期総会において、宣教100周年の記念事業として、会堂建築をするか、それとも開拓伝道をするかを選び取ろうとしていました。議論のすえに会堂建築を選び取るのですが、ちょうど同じ頃、北九州での開拓伝道を志す一人の牧師がおりました。それが山田雄次牧師です。3か月後の8月、若松教会は臨時総会を開いて、会堂建築と同時に、高須教会の開拓伝道に打って出ることを決議するのであります。私が注目したのは、たった3か月の間に、いったい何が起きたのかということです。

若松教会には祈りがあり、ビジョンがありました。それだけでは開拓伝道には踏み出せません。田口牧師の言葉を借りれば、「体を張って開拓伝道する者」が必要なのです。

宣教支援センターの働きも同じです。いまのバプテスト北九州地方連合には、体を張って「つなぐ」役割を果たす献身者が必要なのです。そのために私は立てられたのだと確信しています。

エマオでの道でよみがえりのイエスに出会ったふたりの弟子は「お互いの心が内に燃えたではないか」と語ります。私は皆様方と祈りを合わせながら、ふたりの弟子が味わったあの喜びを取り戻す働きに仕えてまいります。

働きの二つ目は、教会・伝道所どうしが助け合う働きを強めていくことです。バプテスト教会は各個教会主義ですから、自立した教会であることが求められています。ところが若い頃から教会で育った青年が、進学や就職のために、北九州・山口・大分から出て行ってしまふ。教会のメンバーの間で高齢化が進んでいきます。

すると今までできていた働きができなくなる。そのときに「助けてください」という一言がなかなか言えない。自分たちの教会・伝道所の弱みを分かっているつもりでいて、言葉化できていないということもあります。

自分たちの教会の強みは何か。弱みは何か。それを知ることから、どのような助けを必要としているかが見えてきます。もし人材が教会の中にいなければ、派遣してもらうことができます。二つの教会・伝道所が一緒に礼拝するという可能性もあるでしょう。幸いなことに北九州連合では「一歩プログラム」という実践がなされ、教会どうしが出会わされてきた実績があります。教会・伝道所の将来を見据えつつ、支援を必要とする課題を見つけることから、ご一緒に始めてまいります。

働きの三つ目は、連合を強めていくことです。今年度、各委員会はサポート教会との協働ができるような体制づくりのための具体的な作業に入ります。

宣教支援センターは、各委員会と連携を取りながら、各委員会が教会・伝道所の課題解決ができるような組織へと成長していくことができますように、お手伝いをしていきたいと考えています。2期8年のプロジェクトを成し遂げることによって、宣教支援センターの機能を、連合の役員会および各委員会で果たしていけるようになることが最終的な目標です。

私自身、牧師としての経験は2年半しかありません。ご心配されている方もおられると思います。5月から研修をさせていただき、引き出しの中身を増やすこと。そして賜物をもった方々とのつながりを築くことに専念します。どうか祈りに覚えてください。

長いおつきあいになります。今後ともよろしく
お願いします。

齊藤弘司

(2015年4月29日 連合定期総会にて)



■サポート教会は東八幡キリスト教会です。

宣教支援センターのサポート教会として、東八幡キリスト教会が受け入れの決断をしてくださいました。心より感謝いたします。さっそく事務局が立ち上げられ、齊藤主事・牧野信栄姉(連合事務局と兼務)ほかスタッフが日々業務に励んでおります。



5月27日(水)
センター調整会議中

■主事の予定

- 6/3(水) 防府教会訪問
- 6(土) 連合壮年会例会出席
- 7(日) 荏田教会
佐藤清一牧師就任式出席
第二回常任委員会
(連盟野口宣教部長出席)
- 8(月) 連合女性会総会陪席
- 10(水) 直方教会訪問
- 15(月) 南小倉教会訪問
連合役員会陪席
- 17(水) 富野教会訪問
- 22(月) 連盟事務所にて研修
(24日まで)
- 28(日) 豊前教会組織感謝礼拝出席

■おねがい

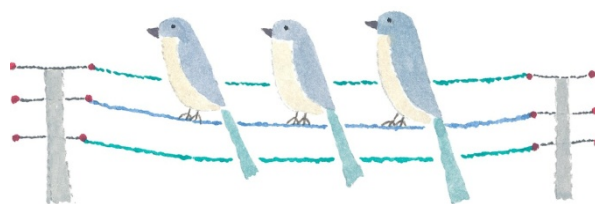
あらためて各教会を知る第一歩として、アンケートのお願いをお送りしました。お忙しいところ恐縮ですが、メール・FAX・郵送のいずれかで、事務局へお返事ください。

6月28日(日)までにお願いします。

■編集後記

準備号の巻頭言は山田運営委員長にお願いしました。「高揚感」という言葉に、センターへの期待が込められているのを感じて、身の引き締まる思いです。

9月までの間は月2回、センターニュースをお届けします。ご期待ください！(齊藤)



発行日	2015年6月3日
発行責任者	山田 雄次
発行所	
〒805-0015	
北九州市八幡東区荒生田2-1-40	
東八幡キリスト教会内	
連合宣教支援センター事務局	
TEL&FAX (093)651-6669	